2007年度 未踏ソフトウェア創造事業

max planck institut informatik

MPEG等動画圧縮を考慮した

Global Illumination(大域照明)モデルの開発

開発者:絹脇 伸ー (マックスプランク研究所)

動画エンコーダーは ここのエラーを減らす為に 現在のプロセッサでは高速に処理可能 膨大な計算時間を要する 連続したフレーム シーンの 最終動画 静止画の集合 描画 数学的エラー (モンテカルロ 量子化エラー によるノイズや (エンコーダーの圧縮 Density Estimation によるエラー) によるバイアス) 従来までのフレームワーク



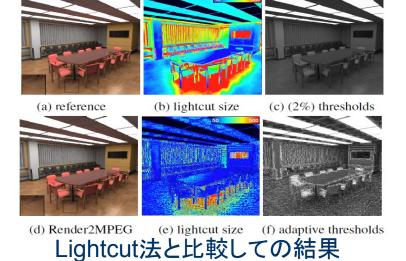
動画の帯域を入力







- ・従来までは別工程だった画像生成とコン ジティングを一つの工程にまとめる。
 寺間軸コヒーレントを利用した高速化と質 の向上を可能とし、パラメーターレスの新 しい大域照明法を導入しました。
- 新しい視覚メトリックスの導入



Render2MPEG: A Perception-based Framework Towards Integrating Rendering and Video Compression http://www.mpi-inf.mpg.de/resources/anim/EGO8/